

目 的

沿岸漁場のうちで未開発の場所として砂浜がある。砂浜漁場の開発が遅れているのは、底質の移動がはげしいなど、砂浜の特性が、施設の構築をさまたげているのが直接の原因と考えられるが、一方、砂浜漁場では漁業生態的な知見がとぼしいために、有効な開発策が見だし難いことも一因となっている。

海岸線の7割余りを砂浜が占めている本県にとっては、砂浜漁場の開発は宿命的な課題であって、対策のいとぐちをつかむためにこの試験に着手した。

試験は先ず、砂浜のもつ漁場環境的特性と、この漁場における有用種の生態を究明することに重点を置き、この試験結果を分析することにより、資源の増殖手段を見いだすことを目的として実施した。

なお、とくにことわりのない限り、この報告では大陸棚外縁に相当する水深100m以浅の海面で、底質が砂または砂泥地の場所を砂浜域と呼ぶことにする。